

---

**第 136 回松本歯科大学大学院セミナー**

**日 時:** 2007 年 2 月 23 日(金) 17 時 30 分~18 時 30 分

**場 所:** 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

**演 者:** 中島 友紀 氏

(東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科分子情報伝達学・助手)

**タイトル:** 癌の骨転移における新規創薬ターゲットとしての RANKL

近年の癌に対する早期診断法の普及、外科学的手術の向上ならびに抗癌剤療法の進歩は目覚ましく、原発巣に限局する癌に対する有効的な治療が現実のものとなりつつある。しかし、その一方で多臓器への遠隔転移を引き起こす癌には、未だに効果的な対策が乏しい。癌の転移は一見、無秩序に起こっているかのように見えるが、癌原発巣の種類に伴い転移標的臓器の特異性がある。しかしながら、なぜ乳癌や前立腺癌などの特定の癌が、高確率で骨に転移するのか？その作用機序は不明である。この度、我々はこれらの癌に RANK が強力に発現し、骨組織に豊富に存在する RANKL が癌細胞の遊走を引き起こし骨への転移を促進すること、ならびにこの RANKL の抑制が骨転移防止に繋がる可能性を見出した。近い将来、RANKL を標的とした薬剤が、特定の癌に伴う骨転移の予防的治療に適応されることが期待される。

**参考論文:**

Nature 440: 692-696 (2006)

Nature Med 11: 394-399 (2005)

実験医学 24: 1777-17780 (2006)

担当:硬組織疾患制御再建学講座 宇田川信之